

平成24年行政事業レビューシート

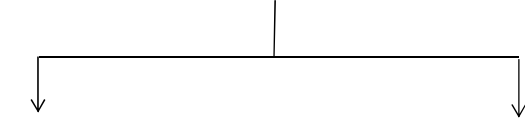
( 警察庁 )

<b>事業名</b>	警察用船舶の整備		<b>担当部局</b>	長官官房		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	-		<b>担当課室</b>	会計課装備室		装備室長 家永 宏之		
<b>会計区分</b>	一般会計 東日本大震災復興特別会計		<b>施策名</b>	複数施策(1~7)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	厳しい治安情勢の下、沿岸及び港湾等に水上における警察活動の基盤となる警察用船舶を国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の水上警察活動を適切かつ効果的・効率的に遂行することができるようにする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	警察用船舶は、水上警察活動の機動力として多角的に活用されているところであるが、老朽化した船舶は速力が低下し、密入国、密輸・密漁等の取締りに支障を来すことから更新整備を図る。 また、修理等により船舶が使用できない場合や夏期の海水浴場における水難事故警戒、水難者の捜索活動、沿岸警備活動の強化等により船舶が不足する場合に、都道府県警察において、船舶を一時的に借り上げを行う。							
<b>実施方法</b>	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付 その他		
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	657	450	4	438	485	
		補正予算	0	126	0	0		
		繰越し等	0	105	105	0		
		計	657	471	109	438	485	
	執行額	656	448	108				
執行率(%)	100%	95%	99%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 警察活動に必要な船舶の整備 (成果実績) 警察用船舶の保有数	成果実績	隻	181	178	174	-	
		達成度	%	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	警察用船舶の整備数	活動実績 (当初見込み)	隻	6	6 (6)	2 (3)	(5)	
		算出根拠	平成23年度における船舶(12m)1隻の整備に要する経費を単位当たりコストとする。 「単位当たりコスト=X/Y」 X: 23年度に整備した12m型船舶の執行額(104,727千円) Y: 23年度に整備した12m型船舶隻数(2隻)					
<b>単位当たりコスト</b>	52,364(千円/隻)							
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	船舶借料	4	4	東日本大震災復興特別会計において、335百万円(船舶建造費147百万円、船舶購入費188百万円)の要求を行ったため、増額となったもの。				
	船舶建造費	313	293					
	船舶購入費	121	188					
計	438	485						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	都道府県警察への警察用船舶の整備に係る経費は、警察法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号により国庫が支弁することとなり、また、規格・性能等を統一する必要性や中央調達による経済性などの観点から、警察庁が実施すべき事業として適切なものである。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	従来より、一般競争入札により調達するなど競争性を確保してきたところであるが、より競争性を高めるため、平成22年度より、通常の官報公告に加え調達情報を小型船舶工業会等を通じて造船業者に周知する新たな取り組みを実施しており、その結果、参加業者の増により更に競争性が高まり、指標としている12m型船舶1隻当たりのコストも前年度比で4,336千円削減している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	水上における警察活動を一定の水準で維持するために必要な警察用船舶の整備を成果目標としているところであるが、近年の高速船の整備等により、運用の効率化を目的とした整備数の見直しが可能となる都道府県警察も出てきていることから、老朽化した警察用船舶の更新整備事業を推進すると共に所要の減船等も進めているところであり、船舶の保有数は、前年度比で4隻の減となっている。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名   巡視艇の整備(海上保安庁)	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>1 支出先・用途の把握水準・状況 警察用船舶の整備は、警察庁において一括調達しているため、支出先・用途については把握している。 また、都道府県警察に予算配賦している船舶借料については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているため、支出先・用途については把握している。</p> <p>2 見直しの余地 警察用船舶は警察活動を行う上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警察用船舶の更新や、治安情勢に応じた充実強化を図る必要があるが、近年、船舶の性能が向上していることから、警察用船舶の運用の効率化を図ることが可能かどうか検討する。 また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の見直し・点検を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに競争性、経済性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組を行っており、今後も効率的な予算執行に努める。 船舶借料については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているため、支出先・用途等を把握しており、また、契約の都度、過去の実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところであり、今後とも引き続き実施する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1 支出先・用途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。		
	2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 平成25年度予算の概算要求を行う場合には、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算額の減額に努めること。		
	3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	平成25年度予算の概算要求に当たり、更新対象船舶の整理を図り、調達数(必要数)の見直しを行った他、契約実績を反映した要求単価の見直しを実施し、予算額の減額を図った。(削減額:454百万円)		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>財務省平成24年度予算執行調査における指摘事項</p> <p>1 警察用船舶については、今後も、耐用年数を経過した老朽船舶が増加することから、これに伴う水上警察力の低下を回避するため、更新整備の必要性は認められるが、一方で、都道府県ごとの整備数については見直しを行う必要がある。特に、配備数の多い都道府県などについて、水上警察活動に支障を来さないよう配慮しつつ、統廃合、船種変更等により運用の効率化を図り、経費の節減に努めるべきである。</p> <p>2 大規模整備の際、現有船舶を活用してもなお不足する分については、民間船舶のリースを活用するなど、更なる効率化を図るべきである。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	当初16	平成23年行政事業レビュー	63

警察庁  
108百万円

〔 警察用船舶の整備等 〕



船舶購入

〔一般競争入札〕

A.(株)石田造船  
105百万円

〔 警察用船舶の納入 〕

〔予算配賦〕

B. 都道府県警察  
福島県警察  
1百万円  
都道府県警察(14機関)  
2百万円

〔 船舶の借り上げ 〕

船舶借料

〔随意契約(少額)〕

C.(株)小名浜通船  
1百万円

〔 船舶の賃貸 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。費  
 目と使途の双方で実情が分かる  
 ように記載)

A. (株)石田造船			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
船舶購入	警察用船舶の購入	105			
計		105	計		0
B. 福島県警察			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	船舶の借り上げ	1			
計		1	計		0
C. (株)小名浜通船			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
船舶借料	船舶の賃貸	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)石田造船	警察用船舶の納入	105	7	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県警察	予算配賦	1		
2	茨城県警察	予算配賦	0.45		
3	埼玉県警察	予算配賦	0.41		
4	宮崎県警察	予算配賦	0.29		
5	島根県警察	予算配賦	0.26		
6	宮城県警察	予算配賦	0.23		
7	鹿児島県警察	予算配賦	0.23		
8	熊本県警察	予算配賦	0.15		
9	大阪府警察	予算配賦	0.1		
10	山口県警察	予算配賦	0.07		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)小名浜通船	船舶の賃貸	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

# 警察用船舶の活動状況

## 搜索救助活動



## 警戒警備活動



## 取締活動



## 広報活動

